

大阪の都市魅力創造の現状と課題

- ☆世界における大阪のプレゼンスの向上
 - ・世界の中での大阪の存在感はまだ薄い。
(世界の都市総合ランキング2016で42都市中22位、アジアで7位)。
世界の都市間競争に打ち勝つため、多様な人材が交流し新しい価値を創造する都市として、国際都市・大阪のプレゼンスを高める必要がある。
- ☆都市魅力創造の好循環の実現
 - ・行政と民間の役割分担を明確にし、民間主体の取組みは、集客促進⇒消費喚起・投資拡大⇒取組みの充実・発展という好循環につなげていく必要がある。
- ☆国内外からの注目の高まりを捉えたさらなる魅力向上
 - ・大阪における平成27年の延べ宿泊者数は、3,037万人(うち外国人897万人)で、来阪外国人旅行者数は年間716万人を超えている。さらに今後、三大スポーツイベントの開催などにより、国内外からさらに多くの方が大阪・関西を訪れる絶好の機会が到来することから、国内外からの観光客受入環境の充実とさらなる魅力向上、効果的なプロモーションを展開する必要がある。
- ☆大阪観光局の機能強化(大阪版DMO)
 - ・観光事業推進の司令塔として、大阪観光局のさらなる進化・機能強化が求められる。

戦略理念

世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速

2020年に向け、大阪を世界へアピール!

10の都市像で施策展開

戦略目標

内外から人、モノ、投資等を呼び込む「強い大阪」の実現

世界に存在感を示す「大阪」の実現

文化・都市魅力の向上(都市魅力創造)

交流人口拡大(集客効果)

まちの活性化(取組の充実・発展)

消費喚起、投資拡大(経済効果)



基本的考え方

- ◇国内及び世界に向けた大阪の魅力の発信
- ◇これまで取り組んできた重点取組を発展・進化
- ◇府域全体の発展に資する施策展開
- ◇2020年度以降も見据えた仕組みづくり
- ◇みんなで支える
- ◇PDCAサイクルの徹底

計画期間

平成28(2016)年度～平成32(2020)年度

10の目指すべき都市像と施策展開の考え方

観光・都市魅力				文化		スポーツ		国際化	
世界に誇れる 自慢の都市	安全で安心して楽しめる 24時間 おもてなし都市	多様な人材が集う 観光・MICE都市	多様な楽しみ方ができる 周遊・滞在都市	大阪が誇る 文化力を 活用した都市	あらゆる人々が 文化を 享受できる都市	アジアをリードする 国際・プロ スポーツ都市	健康と生きがいを創出する スポーツに 親しめる都市	世界で活躍できる グローバル 人材育成都市	出会いが新しい価値を生む 多様性都市

都市魅力創造の好循環につながる施策展開

様々な角度から、都市魅力の向上を図り、国内外の人々に大阪の魅力を発信し続けていくとともに、都市魅力の向上(都市魅力創造)⇒交流人口の拡大(集客効果)⇒消費喚起・投資拡大(経済効果)⇒まちの活性化(取組の充実・発展)の好循環に結びつく施策展開を図る。

行政・地域・民間の役割分担と施策展開

大阪観光局とも連携を図りながら、これまで以上に、魅力あふれるまちづくりや観光資源づくり、効果的な府域への誘客を図るとともに、文化・スポーツによる都市魅力の向上など、公と民のそれぞれが必要な役割を担いつつ、一体となって、都市の魅力を高める取組みを展開する。

より効果的な施策展開

平成29年1月より導入する宿泊税を新たな行政需要として実施すべき事業に充当するなど、限られた財源を有効に活用して最大の効果を発揮させ、観光客が大阪での滞在を安全・快適かつ、楽しみ、満足いただくための観光振興施策を展開する。

重点取組

大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信

- 都心部における観光魅力のさらなる充実
- 府域全体での都市魅力向上策の展開

文化・スポーツを活かした都市魅力の創出

- 三大スポーツイベントに向けた機運醸成
- 大阪が誇る文化・スポーツの強みを活かした都市魅力の創出と観光施策との連携

世界有数の国際都市を目指した受入環境の整備

- 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進

- 世界第一級の文化・観光拠点形成・発信
- 多様な観光資源の発掘・発信
- みんなで支える仕組みづくり

- 国際的なスポーツイベントの開催
- スポーツ都市大阪の魅力発信
- オリ・パラ等の開催を契機としたレガシーの形成
- 大阪の文化・食の魅力発信

- 旅行者の利便性向上
- 観光案内機能の強化
- インバウンド受入環境の整備
- 外国人留学生の受入と定着支援

10の目指すべき都市像と施策の方向性・KPI

	都市像	施策の方向性	KPI (◎主指標、・副指標)	戦略策定時の数値	主指標の数値目標
観光・都市魅力	世界に誇れる 自慢の都市	<ul style="list-style-type: none"> ●世界第一級の文化・観光拠点形成・発信 (夢洲でのRを含む国際観光拠点形成、水都大阪、市内外の拠点整備、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録) ●大阪ならではの魅力創出・発信 (キラーコンテンツの創出、スポーツツーリズムの推進) ●大阪の文化を満喫できる魅力創出・発信 ●魅力的な景観演出 	◎来阪外国人旅行者数 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の都市総合ランキング(分野:文化・交流ランキング) ・自分の住んでいる地域に愛着を感じている府民の割合 ・大阪が楽しいまちだと思っている人の割合(全国) 	716万人 27位 74.2% 36.7%	1,300万人
	安全で安心して楽しめる 24時間おもてなし都市	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客受入環境の充実 (観光案内機能充実、多言語対応の強化、Wi-Fi環境の充実 等) ●旅行者の安全・安心の確保 (災害等への対応力強化) ●旅行者のニーズに配慮した多様なサービスの提供 (ナイトカルチャーの創出 等) 	◎来阪外国人旅行消費額 <ul style="list-style-type: none"> ・Osaka Free Wi-Fi認証数 ・24時間営業店舗数、深夜営業店舗数 	5,781億円 4,873,259件 2,369所	1兆1,900億円
	多様な人材が集う 観光・MICE都市	<ul style="list-style-type: none"> ●MICE誘致の推進 ●観光マーケティング・リサーチの強化 ●観光振興を支える人材等の育成 	◎国際会議開催件数 <ul style="list-style-type: none"> ・MICE外国人参加者数 ・インセンティブツアーの誘致・開催件数 ・インテックス大阪における展示会延べ使用面積 	253件 27,360人 51件 225万㎡	340件
	多様な楽しみ方ができる 周遊・滞在都市	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的なプロモーションの強化 ●周遊性を高める利便性の向上 (府内各地への誘客サポート) ●大阪に滞在したくなる仕掛けづくり (観光客の目線での地域魅力再評価) 	◎延べ宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者平均宿泊日数 ・外国人旅行者リピーター数 	3,037万人 1.68日 314万人	3,600万人
文化	大阪が誇る 文化力を活用した都市	<ul style="list-style-type: none"> ●上方伝統芸能を活用した魅力発信 ●都市の魅力向上と新たな文化の創造 ●文化プログラムの推進 (大阪府内全域を活用した文化事業の推進) 	◎府内外から人々が集まり、芸術活動が活発になっていると思う府民の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・文楽、歌舞伎、演芸等、伝統芸能が保存・継承され、鑑賞の機会が充実していると思う府民の割合 ・海外や他県等と芸術文化の交流が活発であると思う府民の割合 ・芸術文化が都市の魅力づくりに貢献していると思う府民の割合 	10.8% 23.0% 11.1% 12.3%	40%
	あらゆる人々が 文化を享受できる都市	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実 ●将来の社会の担い手となる青少年の育成 ●芸術文化拠点の充実と府民意識の醸成等 	◎文化的環境が整備されていると思う府民の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・一年間に大阪で芸術鑑賞をしたことがある府民の割合 ・一年間で文化施設(美術館、音楽ホール、映画館など)を利用したことがある府民の割合 ・文化に関する情報ネットワークが充実していると思う府民の割合 	9.8% 22.4% 64.9% 23.2%	40%
スポーツ	アジアをリードする 国際・プロスポーツ都市	<ul style="list-style-type: none"> ●国際的なスポーツイベントの開催 (人気の高い競技大会誘致、機運醸成イベント) ●スポーツ都市大阪の魅力発信 (大阪マラソン、ランドマークを活用したスポーツイベント) ●RWC、オリ・パラ、関西WMGの開催を契機としたレガシーの形成 (産学官によるスポーツ人材の育成) 	◎大阪にゆかりのあるプロスポーツチーム7チームの年間主催試合での観客者合計数 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪マラソンの外国人参加エントリー数 ・ラグビーワールドカップ2019花園ラグビー場開催試合関連の集客数 ・機運醸成イベント参加者数 	265万人 10,332人 - -	360万人
	健康と生きがいを創出する スポーツに親しめる都市	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツを「する」機会、「ささえる」力の拡充 (トップアスリートによる指導、スポーツボランティア) ●スポーツを通じた健康増進 (気軽なスポーツ実践の場の充実、スポーツ健康科学) 	◎成人の週1回以上のスポーツ実施率(性別・年齢別) <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツをすることが好きな小中学生の割合 ・大阪府障がい者スポーツ大会における参加者数 ・大阪府登録スポーツボランティアのスポーツ大会への延べ派遣者数 	40.0% 72.0% 916人 796人	50%
国際化	世界で活躍できる グローバル人材育成都市	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル人材育成 (英語教育の充実、国際交流の推進) ●外国人留学生の受入と定着支援 ●企業における高度外国人材の積極的受入・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外へ留学する大阪の生徒・学生数 ◎大阪で学ぶ留学生数 <ul style="list-style-type: none"> ・留学生が就職する全国の日本企業等のうち、大阪の企業が占める割合 ・府内在留高度外国人材数 	高校 468人 大学 2,678人 15,280人 10.4% 14,106人	23,000人
	出会いが新しい価値を生む 多様性都市	<ul style="list-style-type: none"> ●国際都市にふさわしい安全安心の取組みの推進 (多言語相談機能の充実) ●地域のグローバル化 (ホスピタリティの向上) ●国際競争力を有するビジネス拠点としての大阪の魅力向上 (外資系企業の誘致・国際ビジネス交流の推進) ●大都市大阪の活力を統合した都市外交の推進 (海外へのプレゼンス発信) 	◎大阪で働く外国人労働者数 <ul style="list-style-type: none"> ・府内外外国人相談窓口常設市町村数 	45,838人 11市	61,000人